

福岡県立光陵高等学校 うみがめクラブ

テーマ 1)身近な生きもの調査 2)ビオトープや雑木林での調査・同定方法の学習

調査の実施方法

- 期 間 1) 2016年5月～10月 2) 2016年5月～10月
- 場 所 1) 宗像市、古賀市、福津市、福岡市博多区等
2) 福津市光陵高校周辺、福津市手光ビオトープ、西郷川、千鳥ヶ池等
- 手 順 1) 人の生活圏や里山等、都市または都市周辺に生息している生きものを調査。
2) 同じ分類群に属する生きものの形態を比較して種の同定方法を学ぶ。
(調査:保護管理されている場所や公園、里山ビオトープ)

見つけた生きもの・コメント

ホテイアオイ

ため池の水面を80%近く覆うくらい繁茂していました。冬になると枯れて一見いなくなったように見えますが、また暖かくなると同じ場所に繁茂していました。



ジョロウグモ

大きな一つの巣にオスとメスが二匹でいることが多かったです。巣同士がぶつかりそうなほど接近して張られていることもありました。



ニホンアマガエル

夜、民家周りの街灯に寄って来る虫を狙っている様子。駐輪場の街灯や自動販売機などにじっとくっついていることが多かったです。



コサギ

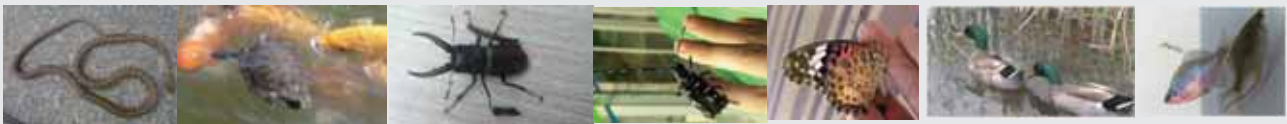
川の階段状のごく浅い場所で動かずにじっと流れをのぞき込んでいました。脚の鮮やかな黄色が目を引いてすぐに見分けがつかしました。



見つけた生きもの(下線は報告対象種)

【植物】ホテイアオイ、オカヒジキ、フキ(計3種)

【動物】コウベモグラ、アブラコウモリ、ダイサギ、アオサギ、コサギ、カササギ、モズ、ジョウビタキ、ツバメ、ホトトギス、ミシシippアカミガメ、ニホンヤモリ、ニホントカゲ、シマヘビ、ヒバカリ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ツチガエル、ニホンウナギ、マルスズキ、ドンコ、カワハギ、ニッポンバラタナゴ、ヒラタクワガタ、ゲンジボタル、カブトムシ、キアゲハ、オニヤンマ、トノサマバッタ、セイヨウミツバチ、アメリカザリガニ、ジョロウグモ、オニグモ、ゴホントゲザトウムシ、アサリ、スクミリンゴガイ等(計58種)



気が付いたこと、わかったこと、みんなに伝えたいことなど

普段の生活では、気づきませんでしたが、調査を行うと、生活の中で発見することが多くなり、驚きが増えました。これからも気づいたときは調査を兼ねて観察をしていきたいと思います。

みんなが知っているような生きものは種の同定がすぐにできたが、初めて見るような生きものは種の同定がとても大変でした。

